



皆様に愛され、信頼される病院を目指します

邑智病院だより 60号

2026/10

発行／邑智郡公立病院組合



院長 あいさつ



院長
やまぐち せいじ
山口 清次

秋らしくなってきました

10月に入ってやっと秋らしくなってきましたが、今年の夏は例年にもまして猛暑が多かったように思います。高原地帯の邑智地方でも外に出るとやけどをしそうな日が少なくありませんでした。また8月、9月、2度もあった千葉の線状降水帯のように、突然想定外の大災害に見舞われた所もありました。全国的に40℃以上になる「酷暑日」が年々増えつつあり少し心配です。国連も「地球沸騰化」とさえ言うようになりました。「地球温暖化」の主因は、人間の活動による温室効果ガスであると学者の意見が一致しています。特に北極の氷が解け始めて偏西風が蛇行するようになり、氷河が溶けたリ、局所的に熱波が来たり、それが「線状降水帯」を引き起こすのだそうです。温帯にあるヨーロッパでも熱波による死亡者が今夏3万人以上だったそうです。

日本は歴史的にみて、秋と春が長く「四季」を前提にした文化行事、芸

術、あるいは農業などが発展してきました。しかし世界的にみると、夏と冬だけの「二季」の国が少なくありません。9月初めにはTシャツの人が多かったのに、9月下旬には毛皮のコートで街を歩く人が多くなるようなところがあります。つまり秋と春が極端に短いのです。四季を感じることのできる日本は幸せなはずですが、日本列島の中でも大都市部は、アスファルトと高層ビルの中に囲まれて猛暑が続く砂漠化しつつあります。せめて大都市をもう少しコンパクトにして、四季を感じられるようにできないものかと思えます。

私の感想で恐縮ですが、邑智で好きなのは4月～5月の田植えの季節、水を張った水田の景色の中を歩くと最高の気分です。次いで9月～10月の稲を刈り終わった風景、「石見神楽」の音とメリハリのある舞いをみると、胸がときめきます。

最後にご案内です。今年7月に石原晋名誉院長が「日は好日 邑南暮らし」という本を出版されました(山陰中央新報。286ページ、1,760円)。邑智で生まれ育った先生の邑智への想い、自身が大病を乗り越えてきた経験と今の心境、そして俳句、エッセイ、あるいは邑智病院への想いなどがまとめられています。この秋の読書にいかがでしょうか。

邑智郡公立病院組合議会報告

令和8年第3回定例会(令和8年9月28日(月))において、川本町からの選出議員の議席の指定及び副議長選挙等が行われ、左記のとおり決定しましたのでご紹介いたします。同定例会に提出しました議案及び採決結果は下記のとおりです。

〈邑智郡公立病院組合議会〉

議長 原 克美(美郷町)
副議長 本山 修二(川本町)
議員 石國佳壽子(邑南町)
平野 一成(邑南町)
宮田 博(邑南町)
山中 康樹(邑南町)
漆谷 光夫(邑南町)
勝田 秋夫(美郷町)
牛尾 博文(美郷町)
藤原 修治(美郷町)
植田 昌平(川本町)
高良 敏幸(川本町)

議会運営委員長 漆谷 光夫
議会運営副委員長 植田 昌平
委員 平野 一成
牛尾 博文
藤原 修治

〈監査委員〉

有識者 迫田 悦三
議員選出 高良 敏幸

提出議案と採決の結果

議案の内容	採決
邑智郡公立病院組合監査委員選任の同意について	原案同意
令和7年度公立邑智病院事業会計決算の認定について	原案認定
邑智郡公立病院組合病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決

総務管理課



令和7年度公立邑智病院決算報告

医事経営課

令和7年度は、地域包括ケアシステムの充実を目指し、新たに訪問看護事業、夜間透析を開始しました。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。また、本館棟建て替え事業では、A・B棟の改修を行い、令和7年12月に全工程が完了し、公立邑智病院の新たな出発となりました。

業務状況では、病床稼働率が84.7%と引き続き高稼働で推移しました。延外来患者数は公立邑智病院が49,338人表①、附属市木診療所が2,803人となりました。

経営の概況としては、医業収益では入院収益が減りましたが、外来収益、他会計負担金などそのほかの収益が増え、前期比0.6%の増となりました。医業費用も前期比で6.2%増加しており、給与費や本館棟建て替え事業に伴う減価償却費の増加が要因になります。よって医業収支比率は79.7%（前期比4.4ポイント減）となりました。また、医業外費用では企業債支払い利息の増加が大きな負担となっています。

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた経常利益は3千31万円のマイナス、経常収支比率は98.7%（前期比0.9ポイント減）の決算となりました。（表②③）

【病床稼働率の内訳】
急性期病床：77.3%（▲8.3ポイント）
回復期病床：98.5%（▲2.6ポイント）
分娩件数：23件（▲8件）
手術件数：191件（▲3件）

※（ ）内は前期比較

令和7年度は、地域包括ケアシステムの充実を目指し、新たに訪問看護事業、夜間透析を開始しました。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。また、本館棟建て替え事業では、A・B棟の改修を行い、令和7年12月に全工程が完了し、公立邑智病院の新たな出発となりました。

業務状況では、病床稼働率が84.7%と引き続き高稼働で推移しました。延外来患者数は公立邑智病院が49,338人表①、附属市木診療所が2,803人となりました。

経営の概況としては、医業収益では入院収益が減りましたが、外来収益、他会計負担金などそのほかの収益が増え、前期比0.6%の増となりました。医業費用も前期比で6.2%増加しており、給与費や本館棟建て替え事業に伴う減価償却費の増加が要因になります。よって医業収支比率は79.7%（前期比4.4ポイント減）となりました。また、医業外費用では企業債支払い利息の増加が大きな負担となっています。

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた経常利益は3千31万円のマイナス、経常収支比率は98.7%（前期比0.9ポイント減）の決算となりました。（表②③）

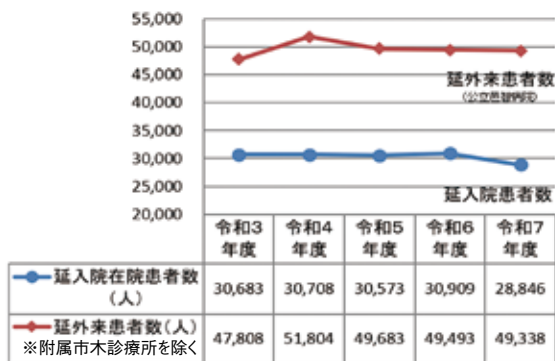
令和7年度は、地域包括ケアシステムの充実を目指し、新たに訪問看護事業、夜間透析を開始しました。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。また、本館棟建て替え事業では、A・B棟の改修を行い、令和7年12月に全工程が完了し、公立邑智病院の新たな出発となりました。

業務状況では、病床稼働率が84.7%と引き続き高稼働で推移しました。延外来患者数は公立邑智病院が49,338人表①、附属市木診療所が2,803人となりました。

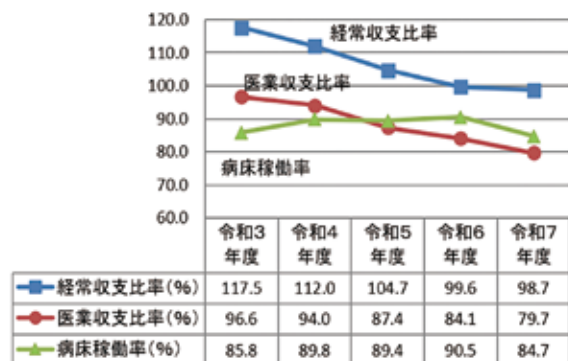
経営の概況としては、医業収益では入院収益が減りましたが、外来収益、他会計負担金などそのほかの収益が増え、前期比0.6%の増となりました。医業費用も前期比で6.2%増加しており、給与費や本館棟建て替え事業に伴う減価償却費の増加が要因になります。よって医業収支比率は79.7%（前期比4.4ポイント減）となりました。また、医業外費用では企業債支払い利息の増加が大きな負担となっています。

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた経常利益は3千31万円のマイナス、経常収支比率は98.7%（前期比0.9ポイント減）の決算となりました。（表②③）

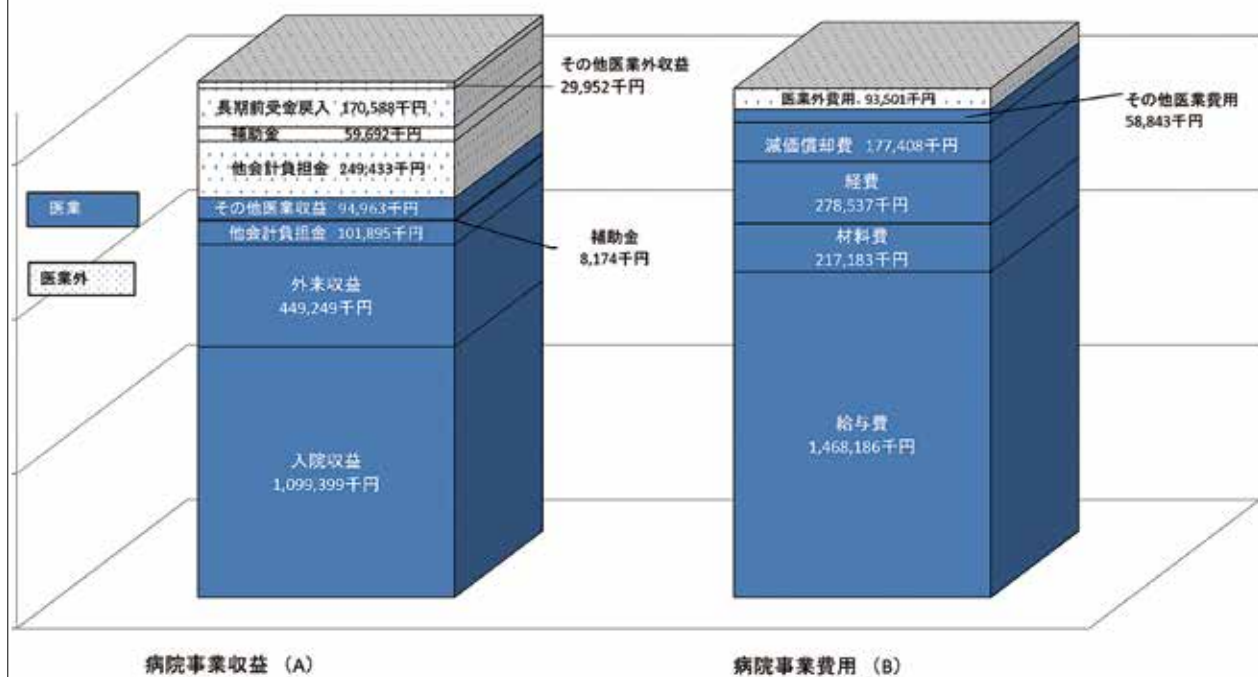
表① 延入院患者数・延外来患者数の推移



表② 病床稼働率・医業収支比率・経常収支比率の推移



表③



病院事業収益 22億6,334万4,722円 (A) 病院事業費用 22億9,365万7,996円 (B)

(A) - (B) 令和7年度経常利益 ▲3,031万3,274円

救急×公立邑智病院

総合調整室

当院は、邑智郡内唯一の救急告示病院・急性期病院として、24時間365日診療を続けています。今回は、皆さんに安心して受診していただけるよう救急医療についてお届けします。



1 ヘリポートと救急室

令和7年12月に本館棟建て替え事業の工事が完了し、今年1月から病院裏の場外ヘリポートの使用を再開しました。

建て替え前は、ヘリポートと救急室が離れていましたが、近接したことでフライト関係者からも好評です。(写真①) 近隣で発生したドクヘリ事案でも当院のヘリポートを活用していただいています。

写真①



外からの救急入口はトンネル形となっており、雨風をしのげる設計。もちろん雪の時期も安心。

2 プレホスピタルから3次救急へ繋ぐ

日本海側や広島県側にある大規模病院から離れた中山間地にあるため、当院は基本的にこの地域の医療を完結する使命があります。しかし、当院で一度診療した後には3次医療機関へお願いしなければならぬ症例ももちろんあります。

そういった際に活躍しているのが、医療従事者コミュニケーションアプリです。このアプリでは連携し

写真②



救急室内は除細動器をはじめとした救命機器や救急薬剤を完備しています。また、シーリングペンダントを採用して、足元に機器のコード等が無いようにしてあります。(写真②)

ている3次医療機関に安全な環境でCTやMRIの画像を高画質で送信し、転院搬送が必要か否かと相談することができます。このことにより、高次医療機関へお願いすべき症例が、当院でこのまま診療を進めていくべきかをスムーズに判断することができるようになりました。

写真③



医療従事者コミュニケーションアプリ。安全な環境下で画像のやり取り、メッセージのやり取りが可能なのが魅力の一つ。

『救急を断らない病院』というメッセージを院長から発信されています。今後この地域の救急を担っていくことが使命であります。皆さんの暮らしと安心の一翼を担えるよう精進して参ります。

看護部の紹介（外来看護）



外来看護スタッフ



外来師長
左田野 由紀

今年度から外来師長となりました。よろしく願います。
今回は夜の救急外来の様子をお伝えします。

外来看護のご紹介



救急室入口



待合室



昼間とは違う人気のない静かな待合室です。そんな待合室を通り抜けていくと、赤い扉の救急室があります。患者さんが受診されるときは、昼間と変わらない明るい救急室で診療を提供します。私たちは、いつ患者さんが来られてもいように整理整頓してスタンバイしています。

救急室



処置室

当院の夜間休日の年間来院患者延数は昨年度は2278人でした。救急車の受け入れ数は1年間で773件でした。発熱、腹痛、虫さされ、怪我：症状は様々で、緊急度・重症度も様々です。お正月やお盆には遠方から帰省された方の受診も多くみられます。お盆は特にマムシに注意！興味本位で触って噛まれた、なんてこともあります。どんな症状であっても、「断らない診療」をモットーにいったん診療を受け入れます。医師1名、看護師1名で夜間休日の救急外来の診療を支えます。

転院搬送

当院での治療が難しい場合は専門の診療科のある病院に行ってください。夜間はヘリコプター（ドクターヘリ）が飛びませんので、緊急性があれば救急車で搬送します。例えば、片方の手足の動きが悪くなつて受診された患者さん、検査をしてみると発症初期の脳梗塞であることがわかりました。残念ながら当院では急性期の脳梗塞に対して専門の治療はできません。脳卒中の専門医のいる病院にCT画像を転送して治療の相談をします。先方の医師から「すぐ来てください。」とお返事をもらうとすぐに転院搬送の準備にとりかかります。自宅で待機している医師を呼んで救急車に同乗してもらい、点滴をしながら専門の病院へ向かいます。

当院でできる治療には限界がありますが、このように近隣の病院と連携をとり、すぐに対応できる体制を整えています。都会のような診療は難しいですが、夜間休日でも邑智郡内唯一の救急告示病院として最善を尽くします。

産婦人科の紹介



莊田医師着任後
625番目に生まれた
赤ちゃん

また、当院で生まれた赤ちゃんとお母さんに、世界で一つだけの特別な思い出を残して頂けるギフトをご用意しています。

「出産の痛みが不安…」という方には陣痛を緩和する和痛分娩も実施しています。医師、助産師、看護師が一丸となってサポートしますので、リラックスして出産に挑んでいただけます。

当院にはLDRルームが2つあり、陣痛が始まってから出産後の2時間まで同じ部屋で過ごすことができます。トイレやシャワーがあり、リラックス出来ると評判です。

**新しい命の誕生を温かく
寄り添ってサポートします**

オリジナルの 家族写真&足形

誕生の瞬間、喜びを形にします。



心を込めた お祝い膳



出産を乗り越えたお母さんへ、感謝とお祝いの気持ちを込めたおいしいお食事をご用意します。

生まれた日の記念 「絵本」のプレゼント



世界に一つだけの素敵な絵本です。お子様が大きくなったときに一緒に読める絵本です。

退院後も安心の 産後フォロー

当院では、無事に出産された後も、お母さんと赤ちゃんが笑顔で過ごせるよう、サポートを行っています。

★退院後の「産後健診」

お母さんの心身の回復状態、赤ちゃんの成長を確認します。困っていることや不安なことも気兼ねなく相談いただけます。

★助産師による「母乳外来」

「おっぱいが上手く吸えない」「授乳の姿勢が分からない」「お乳が張って痛む」など授乳に関するお悩みに助産師が丁寧にお応えします。他院で出産された方や卒乳の相談も大歓迎です。

当院で里帰り出産をご希望の方は、まずお電話でご相談ください。

LDR室



LDR室とは？

陣痛 (Labor) ・ 分娩 (Delivery) ・ 回復 (Recovery) までを同じ場所で過ごせるお部屋です。

News



**莊田参与が産科医療功労者
厚生労働大臣表彰を受けました !!**

産婦人科からのお知らせ

産婦人科では若年者の月経困難症の治療、更年期障害のホルモン療法に力を入れています。それ以外にも子宮がん検診、子宮頸がん (HPV) ワクチン予防接種、婦人科全般について幅広く診療していますので、お気軽にご相談ください。

公立邑智病院を支援する会の紹介

総合調整室

役員一覧	
役職名	氏名
顧問	福井 竜夫（県議会議員）
	岡 達郎（県央保健所長）
	南原 博文（前会長）
会長	日野原哲夫（邑南町）
副会長	青木 和昭（川本町）
	福島教次郎（美郷町）
事務局長	日高 輝和（邑南町）
幹事	今田 初枝（川本町）
	上田 正彦（邑南町）
	日高 学（美郷町）
	井上 至（邑南町）
	牛尾 博文（美郷町）
	中村 昌史（邑南町）
	宮本 武（邑南町）
	寺本 慎司（邑南町）
	小笠原秀雄（邑南町）
会計	鹿野 好明（邑南町）
監事	椿 弓子（邑南町）

(R8.10.1 現在)

「公立邑智病院を支援する会」は、地域医療を守り、住民の皆さんが安心して暮らせる地域づくりを目指して、平成25年に設立されました。公立邑智病院を地域全体で支えていこうと、住民の皆さんが主体となって活動をされています。これまで、健康づくり講演会、病院周辺の環境美化、会報の発行、病院職員との交流など、さまざまな活動に取り組んでこられました。地域の皆さんからの温かい応援や活動は、私たち病院職員にとって大きな励みになっています。

新病院竣工を記念して、イチヨウを植樹し、銘板に樹木名、日付、「公立邑智病院を支援する会」を刻みました。



日高事務局長 日野原会長 青木副会長

野原哲夫さんが新会長となりました。また、副会長は、青木和昭さんと福島教次郎さん、事務局長に日高輝和さんが就任され、新たな体制でスタートしています。

面会のご案内

令和8年8月から新しくなりました



ご面会のポイント

1

面会できる方

ご家族・キーパーソンの方
個室の場合は患者さんの希望で
面会可能者が緩和されます

2

面会時間

10:00～19:00
1回 30分以内



3

面会の前に

ナースステーションへ
お声がけをお願いします

4

体調・マスク

発熱・咳のある方はご遠慮を
マスクの着用をお願いします



5



面会許可証

入院時に2枚お渡しします
見えるように首から下げて、退院時にご返却ください

患者さんにご家族のために、ご理解とご協力をお願いいたします



友好病院提携した公立芽室病院

芽室と邑智をつなぐ人事交流

令和8年6月、公立芽室病院（北海道）と公立邑智病院（島根県）との人事交流として、理学療法士が互いの病院で1か月間勤務しました。それぞれの現場で得た学びや気づきについて、参加した職員に語っていただきました。



邑智から芽室へ

芽室町での1か月を振り返って



公立邑智病院
係長 理学療法士 鈴木 雅仁

“医療と公務の原点を、改めて見つめ直す機会となりました。”

この刺激的な経験は、私に新たな価値観を与えてくれました。また、医療とは人道・仁道であり、公務とはかくあるべきと強く学ばせていただきました。

当初、私は目標とゴールに霞がかかったような感覚がありました。つまり実務者から管理者に片足を踏み込んだ私が、公立芽室病院で実務者として働くことに違和感を持ち、次世代を担う若者に貴重な機会を譲るべきではないか、と考えていたのです。しかし着任してすぐ、大きな間違いであったことに気づかされました。地域住民へ愛にあふれた対応、職員同士がゴールに向かって議論しあう姿勢、毎日の多職種間カンファレンス、自律プロジェクトの積極性、一見当たり前のようにどの病院でも行っている“つもり”を、芽室病院は体現しておられ、正に私が目指す医療像そのものだったのです。地域に求められる病院機能と愛は、強烈なブランディングです。この経験を基に、両院の交流発展へ寄与したいと思います。



カンファレンスの様子



リハビリの様子



ミニバレーサークルにも参加！



休日は川下りにも行きました

芽室から邑智へ

邑南町での1か月を振り返って



公立芽室病院
主任 理学療法士 佐藤 公貴

“地域に愛される病院づくりに、この経験を生かします。”

今回人事交流という大変貴重な機会をいただき、当院の友好病院である島根県の公立邑智病院へ6月から1か月ほど赴任して参りました。

交流の目的としては2つあり、

- ①それぞれの病院の良さや特色を学び病院職員に還元することで互いの病院の医療の質の向上を図る
- ②収益増加に向けた取り組みの面で情報を交換することが挙げられます。

期間中は主に脳卒中・心不全発症直後や、骨折後の後期高齢患者さまの入院リハビリを担当しました。その中で急性期患者さまの治療やリハビリ職に求められる役割、普段の業務を見直す視点、そして町民から信頼され愛される病院づくりへの姿勢について、深く学ぶことができたと感じています。

今回得た経験や気づきを地域医療に生かし、当院の医療の質の向上と、地域に信頼される病院づくりにつなげていきたいと考えています。



研修発表の様子



仲良くピース♪



懇親会も開いていただきました



リハビリの様子

教えて Dr



今回のテーマ

インフルエンザ ワクチンQ&A



医療支援センター長
(総合診療科)
酒井 和久

さかい かずひさ

然の高熱、頭痛、関節痛、全身のだるさなどが一気に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状もみられます。

特にこどもや高齢の方、免疫力の低い方は、肺炎や脳症などの命に関わる重い合併症を引き起こすリスクがあります。



Q2. インフルエンザを予防するには？

A. 日頃のちょっとした心がけで感染リスクを下げる事ができます。

★正しい手洗い・手指消毒…外出先から帰ったときや、食事の前には必ず行いましょう。



★人混みでのマスク着用と換気…流行期はなるべく混雑した場所を避

け、室内は定期的に空気を入れ替えましょう。

★流行前のワクチン接種が有効です。



Q3. ワクチンってなあに？

A. ワクチンは、さまざまな感染症にかかる前に接種することで、感染症にかからなかったり、かかっても症状を軽くしたりすることができものです。

体に注射することで、体の中のB細胞がウイルスと戦うための武器「抗体」を作り、本物の侵入に備えます。

Q4. インフルエンザ ワクチンの効果は？

A. 発症リスクを減らし、重症化を防ぎます。

発症リスクを60%減らすという報告があります。これは、例えば、学校のクラスでインフルエンザワクチンをした25人中、10人がインフルエンザを発症する一方で、ワクチンをした25人中4人がインフルエンザを

発症する確立になります。もし発症してしまっても入院するような重症化を防ぎます。

Q5. どんな人が打ったらいいの？

A. 生後6ヶ月以上のすべての方に推奨されます。特に以下の「重症化リスクの高い方」と「そのご家族」には推奨されます。

- ・65歳以上の方
- ・60歳以上で持病がある方
- ・糖尿病、心臓病、腎臓病、喘息などの呼吸器疾患
- ・妊婦の方
- ・6か月から18歳(高校生相当)の方
- ・右記の方と同居しているご家族

Q6. いつ打ったらいいの？

A. ワクチンを打ってから効果が出るまでに約2週間かかります。本格的な流行を迎える前の12月中旬までの接種をおすすめします。



おわりに

インフルエンザは「ただの重い風邪」ではなく、時に命を脅かす感染症です。ご自身と周囲の健康を守るため、事前のワクチン接種をぜひご検討ください。

Q1. インフルエンザはどんな病気？

A. インフルエンザウイルスによる感染症です。

ウイルスがのどや鼻の粘膜に触れることで発症します。38℃以上の突

悠山亭日記

その13

「本になりました」の巻



名誉院長
石原 晋

邑智病院便りに連載の「悠山亭日記」が「日は好日 邑南暮らし」という本になりました。病院便りに載せたものだけでなく、随筆や俳句などを「里山賛歌」といった内容にまとめたものです。また、邑智病院の歴史、特に近年の、波乱と再生の歴史を概説しました。

以下に本書の前書きの部分を引用します。



はじめに

東西に細長い島根県のほぼ中央、南を広島県境に接する中国山地の山間に、桃源郷のようにたおやかに開けた盆地があります。邑南町の於保知盆地です。

私は20年ほど前Uターンしたのを機に、この盆地の一角に山荘のようなやさやかな庵をむすび、悠山亭と名付けました。陶淵明の詩の一節「悠然として南山を見る」から拝借した命名です。

その悠山亭で、四季おりおり、朝な夕な、すばらしい田園風景に癒されながら過ごしております。とりわけ、子供のころから大好きだった石見冠山を真正面に仰ぎ見るのは得難い贅沢であります。

11年前に病院長職を辞し、ノルディックウォーキングを日課にしました。ほぼ毎日8kmほど盆地の中を歩きます。するとこの景観を、眺めるばかりではなく、抱かれ、溶け込み、自分が景観の一部になったかのように感じながら暮らす日々となりました。

日々歩くようになると、感性が次第に膨らみ、野山や田畑の息遣い、道端の山野草の可憐な姿などに、それまで以上に一層深く心惹かれるようになってきたのです。そうして趣味の世界が大きく開けてくるのでした。

老いの遊びというのでしょうか、従来からの山登りや遍路歩きに加え、ウォーキング、俳句、作文、書道、写経、坐禅、庭木剪定等、さまざまな新たな趣味に親しむようになりました。

「今日は何をして遊ぼうか」と心早く毎日です。まさに「日は好日」、ありがたいことです。

かかる余生の日々を、俳句や随筆や雑文などに認めるうち、書き溜めたものがそこそこの量になってきました。そこで、自画自賛なれども、われながら良く書けているかな、と思えるものを選び、一―三章にまとめました。また、四章として、Uターン前を含め、5歳ごろまで遡りながら、わが来し方におけるエポック的な内容の作文をいくつか選んで収載しました。五章には、私が邑智病院に在職した期間の歴史と、我が国の

医療状況の変遷を概説しました。ここ四半世紀、我が国の医療は市場原理の荒波に放り込まれ、特に田舎の医療環境は悪化の一途にあります。しかし邑智病院は力強く乗り越えてきました。そのことの記録です。

なんだかてんこ盛りの本になってしまいました。なかでも特に伝えたかったことは「田舎暮らしもいいぞ」ということです。どうか伝わりますように。



発行：山陰中央新報社

定価：1,760円

(本体1,600円＋税)

お求め先

邑智病院売店

山陰両県の書店

道の駅邑南の里

山陰中央新報売店

アマゾン、楽天などネットショップ

リハビリ通信

災害とリハビリテーション (生活不活発病の予防に向けて)



リハビリテーション科
理学療法士
田中 祐介

7月28日、熊本県で最大震度7を観測する地震が発生しました。いつ起こるか分からない災害にどれだけ注意を払い、過ごすことができるでしょうか。今回は、災害とリハビリテーションの関連についてご紹介いたします。

大規模な災害が発生すると、これまでは異なる生活様式を余儀なくされるかと思えます。特に高齢の方、怪我や病気で身体に不調をきたしている方は生活の変化に伴い、日々の活動や運動が制限され「生活不活発病」へ陥る方も少なくありません。生活不活発病とは、動かない状態が続くことにより心身機能が低下し、動けなくなることとを指します。この生活不活発病により最悪の場合、災害関連死を招く恐れもあります。東日本大震災において、災害関連死の死者数は3810人と報告されています。※1

また、別の災害における調査では非要介護認定高齢者1626人のうち30.5%に地震後、歩行困難などの機能低下が出現し、その原因の多くが「生活不活発病」によるものと報告されています。※2

有事に備えて運動習慣を身につけることは勿論、「もしも」が起きた後も健康な生活を営むために、生活不活発病について考えてみましょう。

災害発生後の運動について※3

- ① 5分以上連続して歩く
- ② 歩くことが難しい場合は20分以上続けて座る
- ③ 座ることが難しい場合は横になって膝の曲げ伸ばし、足首を反ったり踏み込む運動をする

-
- ※1 復興庁東日本大震災における震災関連死の死者数より引用
- ※2 大川弥生…災害時に多発する「生活不活発病」…その予防と回復における内科医の役割 日本内科学会雑誌 2017…106(4)…857-864
- ※3 公益社団法人日本理学療法士協会…災害時に体力を落とさないための運動を参照

連携

Vol.30

～障害者相談支援事業所編～

「地域連携の大事さ」

邑智園 施設長 渡利 徳雄

社会福祉法人わかば会・邑智園は、障害のある方々が安心して生活を営むための入所支援施設として、日々の暮らしを支える支援を行っています。その中で、利用者の健康と安全を守るうえで欠かすことのできない存在が、公立邑智病院です。特に救急医療の面では、私たち施設職員だけでは対応しきれない場面が少なくありません。体調の急変や予測の難しい症状が生じた際、邑智病院の迅速な受け入れと専門的な判断に幾度となく助けられてきました。

障害者支援施設における救急搬送は、利用者の特性や既往歴、コミュニケーションの状況など、一般の救急とは異なる配慮が求められます。邑智病院の医師・看護師の皆さまは、こうした背景を深く理解し、丁寧に寄り添いながら診療を進めてくださいます。救急搬送の際には、私たち職員の説明に耳を傾け、利用者の不安を和らげる声かけをしてくださる姿に、地域医療の温かさや専門性を感じています。また、日常的な連携の中で、病状の変化や服薬管理について相談できる体制が整っていること

とは、施設運営にとって大きな安心につながっています。

医療と福祉が互いの専門性を尊重しながら協働することで、利用者の生活の質は確実に向上します。邑智園にとって邑智病院は「救急搬送先」という枠を超え、利用者の暮らしを共に支える大切なパートナーです。地域の人口減少や医療資源の確保が難しくなる中で、私たち福祉施設も、より一層の情報共有や連携強化が求められています。

今後も、救急搬送時の情報提供の充実、日常的な健康相談の継続、職員研修の協力など、互いに行えることを積み重ねながら、地域の医療・福祉を守っていきたくと考えています。

利用者の命と暮らしを支えるために、邑智病院の皆さまの力はなくてはならないものです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



公立邑智病院 外来診療担当一覧表

令和8年10月1日現在

		月	火	水	木	金	診療時間	備 考
内 科	総合診療科* (1診)	筒井美紗都	酒井和久	板持卓弥	藤原朋子	木下アンリ	8:45～11:00	初診
	総合診療科* (2診)	板持卓弥	木下アンリ	酒井和久	上田智広	藤原朋子	8:45～11:00	再診 予約制
	総合診療科* (3診)	—	—	筒井美紗都	—	—	8:45～11:00	
	内分泌代謝*	島大医師 (隔週)	—	島大医師 (隔週)	—	—	9:30～11:00	予約制
	血液内科*	—	—	島大医師 (4週間毎)	—	—	9:30～11:00	予約制
	循環器内科*	—	—	—	—	土手慶五 (第4週)	9:00～11:00	予約制
外 科		藤原朋子	三上 学	三上 学	三上 学	三上 学	9:00～11:00	
整形外科		保坂聖一	保坂聖一	島大医師	保坂聖一	島大医師	9:00～11:00	
小 児 科		山口清次	山口清次	山口清次 木下アンリ	山口清次	山口清次 (第1、3、5週) 鬼形和道 (第2週)	8:45～11:30	〔乳児健診〕 予約制 月・金曜日 13:30～14:00 〔予防接種〕 予約制 月・火・金曜日 14:00～、水曜日 15:00～ 〔受付時間〕 月～金曜日 8:45～11:30 月・水曜日 15:45～16:45 金曜日 14:00～16:45
		山口清次	—	山口清次 木下アンリ	—	島大医師 (第4週)	15:45～16:45 (金曜日14:00～)	
産婦人科		荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	荘田恭仁	9:00～11:00	〔母乳外来〕 13:00～ (予約制) 〔婦人科健診〕 毎週金曜日
		荘田恭仁 (予約制)				荘田恭仁 (予約制)	14:00～16:30	
泌尿器科		島大医師	結城康平	結城康平	結城康平 (第2、4、5週) 安食春輝 (第1、3週)	結城康平	9:00～11:00	
麻 酔 科		—	上田愛瑠萌 (術前外来)	—	—	上田愛瑠萌	9:00～11:00	予約制
皮 膚 科		—	森田栄伸 (第1、3週) 島大医師 (第2、4、5週)	—	—	—	9:00～11:00	
歯 科		二宮嘉昭	二宮嘉昭	二宮嘉昭	二宮嘉昭	二宮嘉昭	8:30～12:00	予約制 (急患は要相談) ※第1火曜日は休診 〔受付時間〕 8:30～12:00 14:00～16:30
							14:00～17:00	
精 神 科		—	笠木真人 (第1、3、5週)	—	—	篠崎克也 (第1、3週) 島田直英 (第2、4、5週)	13:00～17:00	〔金曜日〕 予約制及び初診時は要紹介状 ※島田医師は再診のみ 〔受付時間〕 16:30まで ※笠木医師は初診対応可
附属市木診療所		上田智広	—	上田智広	—	上田智広	14:00～16:00	

*は院内標榜

特記事項

- 受付時間は原則**午前11:00まで**です。なお、小児科・精神科・歯科は、備考に受付時間を記載しております。ただし、予約のある方はこの限りではありません。
- 土、日、祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)は外来診療は行っておりません。ただし、救急の場合を除きます。
- 受付機では午前7時00分から、総合窓口では午前8時30分から受付が出来ます。
- 過去1年以上来院のない方や保険証の確認を6か月以上されていない場合は、受付機での受付が出来ませんので、総合窓口までお越しください。
- 疾患別リハビリテーションの実施時間は午前8時30分から午後3時10分です。



健康講演会&ノルディックウォーキング

11/14(土) 9:00~ 公立邑智病院

健康講演会を行った後、病院周辺をノルディックウォーキングする企画です。
申し込み不要ですので、ぜひご参加ください。



お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院
TEL 0855-95-2111 FAX 0855-95-2313
〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2
ホームページアドレス
<https://www.ohchihospital.jp>

邑智病院 検索

病院基本方針

- ① 患者さんを家族と思い、良質で親身な医療を提供します。
- ② 職員同士がお互いのやりがいと誇りを尊重しあう、暖かい職場をつくりまします。
- ③ 明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。
- ④ 地域に信頼されるよう、健全な経営に努めます。